

**NZ-RACE**



日本語



KYTをお選びいただきありがとうございます

警告！安全のために、取扱説明書とすべての警告ラベルをよく読むことが重要です。

ヘルメットを使用する前に、この説明書をよくお読みください。このマニュアルはあなたの安全とヘルメットの寿命にとって非常に重要です。ヘルメットはバイクライダーの安全性を最大限に高めるために最先端の技術を使用して考案、設計、製造されています。ヘルメットはオートバイ専用で作成されており、他の目的やスポーツに使用された場合、適切な保護を保证することはできません。

事故の場合、特に強い衝撃があった場合、ヘルメットは致命傷のリスクをすべて回避できるわけではありません。

特に黄色、オレンジ、赤、緑などの蛍光色の場合、ヘルメットを強い光源にさらさないでください。この種の色は光に対する耐性が非常に低く、退色する可能性があります。

ヘルメットは購入国で有効な基準に準拠しています。

#### ユーザー向け情報

A. いろいろな種類の衝突からもユーザーを保護できるヘルメットはありません。確かにヘルメットの保護能力は無限ではなく、衝突によっては非常に高いストレスが発生する可能性があります。ヘルメットが吸収するエネルギーでもユーザーを怪我から守るのに十分ではありません。たとえ最高品質のヘルメットであっても、あらゆる種類の衝撃から頭を保護できるヘルメットはありません。

B. ヘルメットは、保持ストラップをしっかりと締めて着用できるように設計されています。スカーフやネックガードは着用しないでください。衝突時にストラップが滑ってヘルメットが脱落する可能性があります。

C. 制作者が推奨しない場合は、いかなる要素も貼り付けたり接着したりしないでください。

D. シェルを切ったり、穴を開けたりしないでください。

E. ヘルメットの機能は、衝突の際にユーザーの頭からかかるストレスを軽減することです。これは、そのコンポーネント（主に外部シェルと内部ポリスチレン）の部分的な破壊や変形によって起こります。このようにして、衝撃によって生成されたエネルギーの一部がヘルメットのコンポーネントによって吸収され、ユーザーの頭部からの振動とストレスが軽減され、怪我の可能性が排除または制限されます。

F. インナーライナーはヘルメットの最高の機能を保証するために不可欠です。安全性の観点から最大限のパフォーマンスを確保するには、シェルとインナーの完全性が不可欠です。

G. ヘルメットは、たとえ損傷が見えなくても、ペイント、ステッカー、ガソリン、または洗剤の使用によって損傷を受ける可能性があります。

H. たとえ損傷が目に見えない場合でも、激しい打撃を受けたヘルメットは使用しないでください。ヘルメットが損傷した場合は交換する必要があります。

I. NZ-RACE はイヤホンや類似のデバイスで使用するようには設計されていません。

**安全上の警告!**

1. 新しいヘルメットを使用する前に、この説明書をよく読んで厳守してください。

このヘルメットは次のように考えられ、製造されています。

使用されているさまざまな素材の衝撃吸収能力により、衝撃の際に頭を保護します。



2. 衝撃を受けたヘルメットは絶対に再使用しないでください。

衝撃を受けたヘルメットは使用しないでください。外側からはダメージが分からない場合もありますが、内部の素材が損傷している可能性があります。ヘルメットは、一部の部品の変更や部分的な破壊によって衝撃を吸収するように設計されています。さらなる衝撃が発生した場合、最大限の安全性で身を守ることはできません。

警告! 中古ヘルメットを購入したり、他人のヘルメットを借りたりしないでください。時間が経つにつれて、ヘルメット内の保護フォームはユーザーの頭の輪郭に合わせて調整されます。使用済みまたは借り物のヘルメットは、新しいヘルメットほどの保護を提供できない可能性があります。



3. 適切な着用

警告! ヘルメットのサイズは安全にとって非常に重要であるため、慎重に選択してください。ヘルメットに適したサイズを選択する際は、正規販売店のアドバイスを求めてください。

ヘルメットの適切なサイズを確認するには、以下の手順に従ってください。頭に対して小さすぎる、または大きすぎるヘルメットを決して使用しないでください。

警告! 間違ったサイズのヘルメットを着用すると、事故による重傷や死亡のリスクが高まる可能性があります。頭に対して大きすぎるヘルメットは、事故の際に外れたり、飛ばされたりする可能性があります。

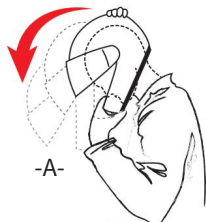


4. サイズの確認方法

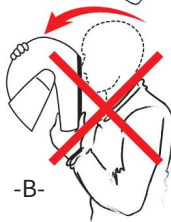
安全なヘルメットは頭にぴったりとフィットする必要があります。サイズを確認するには、ヘルメットをかぶって頭を左右、前後に振ってください。手で動かしてみてください。滑る場合は大きすぎることを意味します。したがって、小さいサイズを試してください。頭への圧力が気なる場合や痛みを感じる場合は、より大きなサイズをお試しください。

「ロールオブテスト」を実行する必要があります。ヘルメットをしっかりと締め、片手であご紐を持ち、もう片方の手で後ろから強く引っ張ってヘルメットを脱いでください。ヘルメットが外れた場合は、サイズが正しくありません。頭が自由に回転できるか、側面視界が制限されていないかを確認してください。自由に呼吸できるかどうか、ヘルメット内に空気が流れるのを妨げるものがないことを確認してください。

警告! ヘルメットが外れたり、目の上でずれたりする場合は、別のサイズ、別のモデル、ブランドをお試しください。上部の視野にエッジが見えるはずですが、



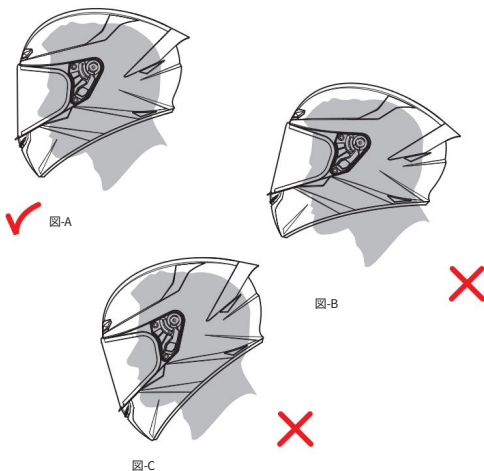
-A-



-B-

## 5. ポジショニング

常に正しい位置に着用してください(図A)。ヘルメットを後方(図B)または前方(図C)に置きすぎている場合は、ヘルメットを締め付けしないでください。



## 6. バイザー

バイザーを掃除するには、温水(可能な場合は脱塩水を使用)と中性石鹸を使用してください。塩素を多量に含む水の使用は避けてください。アルコール、ガソリン、その他の溶剤、またはアルコールを含む可能性のある窓拭き製品は使用しないでください。ヘルメットの内部を掃除する前にバイザーを取り外してください。洗浄剤が完全に蒸発した場合にのみ元に戻してください。警告、特に夜間の安全な視認性を確保するために、傷が付

いたバイザーはすぐに交換してください。色付きのバイザーは日中のみ使用してください。濃い色のバイザーは公認されておらず、レーストラックでの使用のみを目的としています。

保護力が弱くなるため、画面に接着剤や粘着テープを貼り付けしないでください。

画面が損傷する可能性があります。画面が曇ったまま運転しないでください。視力が悪いと事故が発生し、重傷を負ったり、死亡したりする可能性があります。

## 7. 清掃とメンテナンス

ヘルメットの洗浄には、ぬるま湯のみ(熱湯は絶対に使用しないでください)と中性石鹸を数滴垂らすか、特別なヘルメット洗浄製品を使用してください。ヘルメットを周囲温度で乾燥させてください。熱源にさらしたり、乾燥させるためにドライヤーを使用したりしないでください。

## - シェルのクリーニング

警告！ヘルメットの清掃には承認された方法のみを使用してください。他の未承認の化学物質や方法を使用すると、ヘルメットのシェルや裏地が損傷する可能性があります。ヘルメットが損傷すると、事故による重傷や死亡のリスクが高まる可能性があります。

光沢仕上げ：KYTでは、自動車の洗浄と研磨用に設計された製品でヘルメットを洗浄することをお勧めします。すべてのKYTヘルメットは自動車タイプのベースコート/クリアコート仕上げで仕上げられています。研磨剤を使用すると、多くの傷や擦り傷を除去するための徹底的な洗浄が可能です。

製品の指示に従ってください。摩擦用コンパウンドで磨きすぎると軽い擦り傷が発生し、ヘルメットの仕上げが鈍くなる可能性があります。ステッカーやデカールを剥がすと接着剤が残ります。接着剤の残留物を取り除くには、アルコール綿を使用してください。接着剤の残留物が除去されたら、すぐに余分な液体を拭き取り、石鹸と水でその領域をきれいにしてください。

接着剤の残留物を除去する際は、過度の圧力をかけずにすこすこ、軽く何回か軽く処理してください。

非光沢仕上げ：非光沢仕上げのヘルメットの場合は、温水と中性洗剤を使用することをお勧めします。ひどい汚れには複数の処理を使用してください。「光沢のある効果が生じる可能性があるため、表面をクリーニングするときに過度に圧力をかけたり、コンパウンドをこすったりしないでください。非光沢仕上げの実行外観。

1. ヘルメットにホコリ、虫、草が付着した場合は、1 日以内に掃除してください。

クリーニングの進行状況:

1) ヘルメットを温水と布で拭きます。

2) 汚れが残っている場合は、ヘルメットを乾燥させ、残っている汚れをゴムで取り除きます。

油、ゴム。

塗装を損傷する可能性があるため、ヘルメットの清掃にアルコールやシンナーを使用しないでください。

2. 油汚れは一度露出すると洗浄が非常に困難なので避けてください。

#### - 内部清掃

ヘルメットは3〜5年での交換を推奨しておりますが、汗や湿気、汚れが蓄積すると生地や縫製が劣化し、臭いの原因となる場合があります。KYT 取り外し可能パッドを洗う場合は、手洗いをお勧めします。KYT では、素材を損傷する可能性があるため、内装パッドにスピン乾燥機を使用することはお勧めしません。取り外しできない内装の場合、KYT は「ヘルメットフレッシュ」などの抗菌・カビ除去製品を使用することをお勧めします。または他の同様の製品。

#### - 通気口の清掃

汚れや破片が KYT ヘルメットの通気口に侵入する可能性があります。コンピュータのキーボードの掃除に使用される圧縮空気缶は、換気システムから破片を吹き飛ばすために使用される場合があります。このプロセスを実行する前に、取り外し可能なパッドをすべて取り外しておくことをお勧めします。

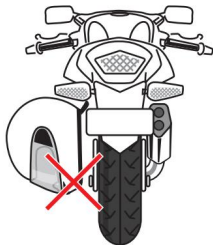
#### - シールドのクリーニング

ヘルメットシールドは、ポリウレタン耐摩耗性コーティングを施したポリカーボネート素材で作られています。中性洗剤とぬるま湯を使用して洗浄してください。熱水、塩水、ベンジン、シンナー、ガソリン、その他の刺激の強い薬剤は絶対に使用しないでください。また、市販のシールドクリーナーの使用はシールド素材の品質に影響を与える可能性があるため推奨しておりません。耐摩耗性コーティングを維持するために、シールドをクリーニングするときは慎重に扱ってください。深い傷が見られる場合は、ヘルメットシールドを交換することを強くお勧めします。着色シールドは「日中のみの使用」を目的としており、夜間や視界の悪い状況での使用には適していません。

#### 8. ヘルメットをいかなる形でも改造しないでください

ヘルメットを決して改ざんしないでください。ヘルメットのシェルを切り穴を開けたりしないでください。ネジを挿入しないでください。塗装しないでください。あご紐を改造しないでください。ゴム製ベーストリムやゴム製ウインドトリムは取り外さないでください。事故が発生した場合に非常に危険です。ヘルメットの衝撃吸収能力が大幅に低下するため、ポリスチレンを切断または除去してコンフォートパッドを改造しないでください。純正のスペアパーツのみを使用してください。

ヘルメットを改造すると、事故による重傷や死亡のリスクが高まる可能性があります。



9 ヘルメットは慎重に使用してください。運転中にヘルメットをバイクにぶら下げないでください。

ヘルメットは非常に丈夫ですが、常に注意して扱う必要があります。固体または粗い物体への衝撃は、塗装コーティングを損傷する可能性があります。さらに悪いことにヘルメットの安全性が低下する可能性があります。ペイントコーティング、バイザー、あごストラップを損傷する可能性があります。そのため、ヘルメットをバイクからぶら下げたまま乗らないでください。マフラー、排気ガス、熱源から常に遠ざけてください。暑い天候で走行していないときは、特にヘルメットの色が暗い場合は常に日光から保護してください。



10. ヘルメットはペットの届かないところに保管してください

ペットをヘルメットとそのライナーから遠ざけてください。損傷は修復不可能になる可能性があります。



11. ヘルメットを安全な場所に保管してください

快適なパッドの損傷を避けるために、ヘルメットをバックミラーやハンドルバーの上に置かないでください。

警告 ヘルメットを不適切に保管すると破損する可能性があります。事故による重傷や死亡のリスクが高まる可能性があります。あなたがすべき：

- ヘルメットは涼しく乾燥した場所に保管してください。
- ヘルメットをペットや他の動物から遠ざけてください。
- ヘルメットを 50°C (122°F) を超える熱から遠ざけ、高温の表面やその近くに置かないでください。
- ヘルメットを長時間日光にさらした場合は、時間の経過とともに色あせる可能性があります。



12. ヘルメットを溶剤にさらさないでください

ガソリンの排気ガスによりヘルメットが損傷する可能性があるため、ヘルメットを燃料タンクの上に長時間置かないでください。バイザー、小さなプラスチック部品、快適なパッドへの損傷を避けるために、ヘルメットをガソリンやその他の種類の燃料などの溶剤にさらさないでください。

13. ヘルメットを点検する

ヘルメットが最高の状態にあり、保護を最大限に高めるために、乗車前に必ずヘルメットに損傷がないか点検してください。

- シールドとシールド ラチェットを確認します。必要に応じて、シールド ラチェットのネジを締め直します。ネジを締めすぎないように注意してください。プラスチック製のネジを締めすぎると破損する可能性があります。プラスチック製のネジがネジのスレッドを割る可能性があります。

- ヘルメットの損傷を確認してください。ヘルメットが損傷したり亀裂が入ったりした場合は、すぐに使用を中止してください。セクション (15) の指示に従ってください。ヘルメットを落とした場合、損傷が見えない可能性があります。

- 摩耗または損傷した部品がないか確認します。プラスチック部品は時間の経過とともに摩耗する可能性があります。摩耗または損傷した部品を見つけた場合は、交換するか、新しいヘルメットを購入してください。セクション (14) の指示に従ってください。

- フェイスシールドを確認してください：フェイスシールドに傷や破損がある場合は、視界が低下する可能性があります。必要に応じて交換してください。オートバイを安全に操作できるよう、常に視界が十分に確保されていることを確認してください。

警告 走行中に部品が脱落すると視界が妨げられ、事故の原因となる恐れがあります。

- 保持システム (あご紐) に損傷がないか確認してください。擦り切れたり破れたりした場合は、ヘルメットを交換してください。

- クラウンパッドが所定の位置にあることを確認してください。

#### 14. ヘルメットは重要な音を和らげ、環境変化の警告を軽減します

警告！ヘルメット、特に一体型のヘルメットを使用すると、ある意味、外部から隔離されます。気候の変化に不意を突かれることがあります。トンネルの出入りや峠の通過中の突然の嵐や温度変化により、画面が湿気を帯びたり、視界が欠けたりすることがあります。画面が曇ったまま運転しないでください。

ヘルメットを着用すると、特に高速走行時に車の騒音が聞こえにくくなります。一体型ヘルメットを使用する場合、スクリーンの開閉は大きな違いになります。安全な運転のために、速度のレベルとヘルメットの種類が道路状況の認識にどのような影響を与えるか、またスクリーンを開ける必要があるか閉じる必要があるかを分析します。

#### 15. 交換部品

警告！ KYT 製以外の交換部品を使用すると、事故による重傷や死亡のリスクが高まる可能性があります。このヘルメットで動作するように特別に設計された KYT パーツのみを使用してください。

#### 16. ヘルメットの交換

警告！ KYT ヘルメットは製品を長持ちさせるために利用可能な最高の素材で作られています。最終的には交換する必要があります。次の場合は直ちにヘルメットを交換してください。

- 影響を受けています。ヘルメットは 1 回の衝撃のみを想定して設計されています。衝撃によりアウトシェルが破損したり、衝撃吸収ライナーが圧縮される可能性があります。この損傷を検出できない場合があります。
  - 衝突や 4 フィートの高さからの落下による衝撃は、ヘルメットを損傷するのに十分です。
  - シェル、ライニング、または保持システムが損傷している。最大限の保護を提供するには、ヘルメット シェル、衝撃吸収ライニング、および保持システムが良好な状態にある必要があります。
- ヘルメットが損傷していなくても、使用頻度に応じて 3 ～ 5 年ごとに交換する必要があります。時間の経過とともに、紫外線、接着剤、部品の老化によりヘルメットが損傷します。破損したヘルメットを着用すると、事故による重傷や死亡のリスクが高まる可能性があります。

#### 17. ヘルメットの廃棄

警告！ 新しいヘルメットを購入する場合は、再利用できないように古いヘルメットを破棄してください。たとえ破損してなかったとしても、古いヘルメットを売ったり譲渡したりしないでください。時間が経つにつれて、ヘルメット内の保護フォームが頭の輪郭に合わせて調整されます。他の人がこのヘルメットを使用した場合、十分な保護は提供されません。

#### 18. 保証

KYT は、KYT ヘルメットの購入者に対し、ヘルメットに材質および製造上の欠陥がないことを限定保証します。

#### 19. 報道内容

この保証はメーカーの欠陥のみに適用され、保証期間は購入日から最大 2 年間です。ご使用者の誤用、過失、改造、事故等により生じた不具合については保証の対象外となります。蛍光色の変色は蛍光色の特有の現象ですので保証の対象外となります。ご使用環境によっては色褪せや劣化が生じる場合がございます。

#### 20. 免責事項

商品性の保証および熟示の保証は、ここに明示的に否認されます。さらに、KYT は結果的な損害に対して責任を負いません。

#### 21. 手順

保証を受けるには、ヘルメット、購入日を示すレシート、および問題の説明、名前、電話番号を含む簡単なメモをヘルメットを購入した正規 KYT ディーラーに持参してください。

## ユーザーの指示

### ダブルDリング保持システム- 図1

ストラップの自由端をリングに挿入します。ストラップが頭の周りにはっきりとフィットするまで引っ張ります。これを行うと、ヘルメットをスライドさせて取り出すことができなくなります。からそれを取って、それを確認します。後端を外して前方に回転させると、ヘルメットは取り外せなくなり、残ったままになります。頭にはっきりと固定されています。

ヘルメットが外れやすい場合、または頭の上で自由に動く場合は、ストラップを右端までしっかりと引っ張ってください。圧力に達したらテストを繰り返します。テストを繰り返しても保持システムを効果的に締めることができない場合は、使用しないでください。ヘルメット。

ストラップをしっかりと調整した後、ストラップの端部分をツメで締めて固定してください。シュータンのプレスタッド。(図1A)。

あご紐に取り付けられたプレスタッドの唯一の役割は、走行中の端部のバタつきを防ぐことです。プレスタッドが固定されているという事実は、ヘルメットが正しく配置され、閉じられていることを保証するものではありません。ストラップが正しく固定されていることは、前の段落で説明した操作によってのみ確認する必要があります。保持システムを解除するには、プレスタッドを緩め、舌を引いてクロージャーを緩めます。ストラップのエンド部分を「ダブルDリング」からスライドさせて外します。ロック解除タングはヘルメットを取り外す場合にのみ使用してください。乗車中は絶対にロックを解除しないでください。保持システムが正しく機能しない場合は、ヘルメットを使用せず、Suomyの認定担当者の方にご連絡ください。

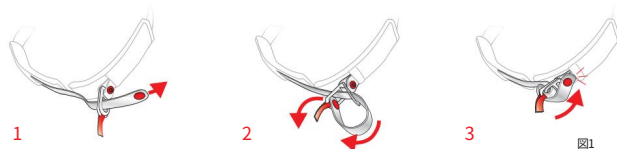
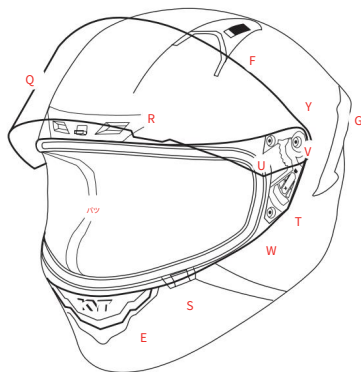


図1





### フロントエアインテーク あご — E — 図 2/3ヘルメ

ットの前部(あご)に流入する空気の流れは、エアインテークの中央部分を調整することで調整できます。- 図 2: エアインテークが閉じられています。

- 図 3: 空気取り入れ口が完全に開いた状態。

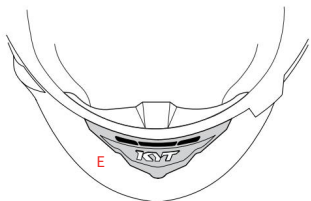


図2

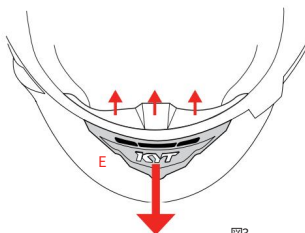


図3

### フロントエアインテークアッパー — F — 図 4/5

ヘルメットの前部上部に流入する空気の流れは、吸気口上のカーソルをスライドさせることで調整できます。

- 図 4: カーソルを前方にスライドさせて吸気口を完全に閉じます

- 図 5: カーソルを後方にスライドさせて吸気口を完全に開きます

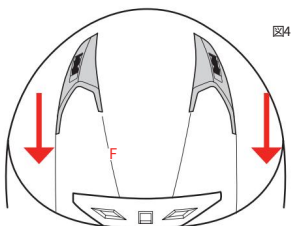


図4

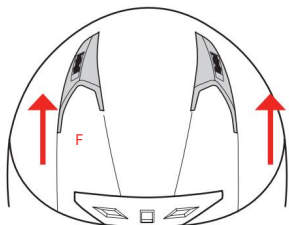


図5

リアエアベント - G - 図 6

革新的なリアエアインテークは、ベンチュリ効果のおかげでヘルメットの下部にくぼみを生成できる残留空気流を利用して、ヘルメット内部の換気をさらに改善するように設計されており、確実に空気を十分に抽出します。その中の熱い空気、その結果、快適な温度が維持されます。

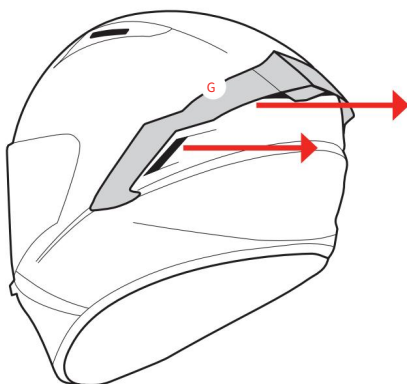


図6

## パディング-HーT-J-K

内側のパッドは簡単に取り外して洗濯したり交換したりできます。

### 内側中央パッド: インナーシェル-Hー 図 7/8

#### 組み立てと分解

インナーシェル (H) は 2 つのプレススタッド (I) と固定タブ (J) を介してヘルメットに固定されます。

内側パッドの取り外しー 図 7 シェルの後部 (うなじ付近)

をつかみ、固定タブ (J) を押して外し、同時に内側に回転させます。パチンと押してプレススタッド (I) を開き、インナーシェル (H) を取り外します。殻を剥がすときは十分注意してください。スタッドの硬い部分を押し、プレススタッドを傷つけないようにヘルメットの内側に少し引っ張ります。

注意: インナーライニングの損傷を避けるため、インナーシェルを取り外す前に、すべてのプレススタッドが外れていることを確認してください。

#### 組み立て- 図 8

インナーシェル (E) をヘルメットの内側に挿入し、組み立て方向を確認してください。

- 1) インナーシェルの後部をインナーライナーの固定部に置き、セキュリティタブ (j) がシート (K) に正しく挿入されていることを確認します。
- 2) プレススタッド (I) を締めます。インナーシェルを固定した後、シェルがヘルメット (ポリスチレンパッド) 内に正しく配置されていることを確認してください。

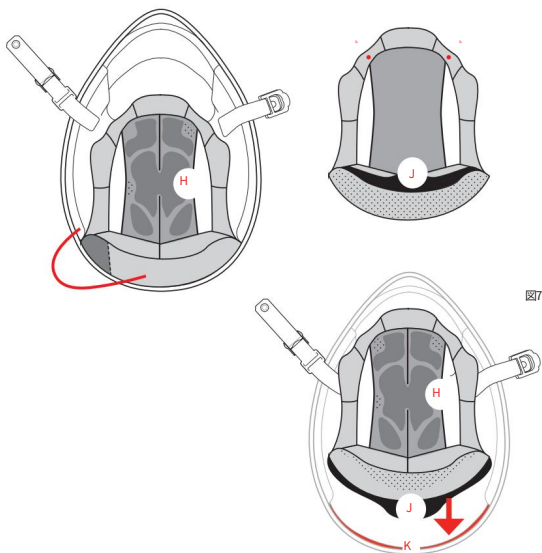


図 8

内側パッド: CHEEK PADS — L — 図 9  
組み立てと分解

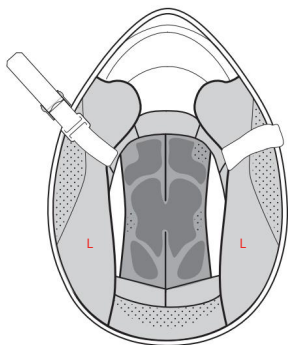


図 9

パッドの取り外し— 図 10 頬パッド (L)  
を前部からつかみ、ヘルメットの後部に押し込み、すべてのプレス スタッドのフックが外れるまで内側に回転させます。

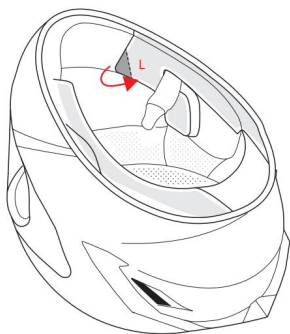


図 10

組み立て- 図 11

チークパッドを元の位置から裏返します。

固定フック(M)を赤色の引っ掛け穴(N)に差し込みます。チークパッドの背面部分を内張りの固定部分に当てます。固定ストラップ(O)が適切なシート(P)に正しく挿入されていることを確認します。チークパッドをヘルメット後部に押し込み、プレススタッドを引っ掛けます。

次のことを確認して、部品が正しく組み立てられていることを確認します。 -  
頬パッドが所定の位置にしっかりとロックされている  
- ストラップが穴の中で完全に自由であり、頬の下でブロックされていない

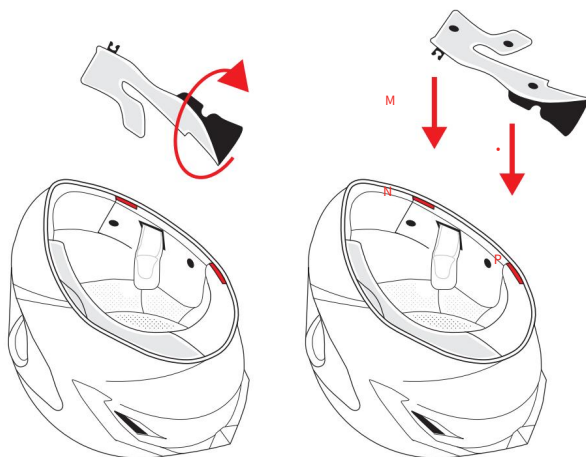


図 11

組み立て時のパッド。

チークパッドを正しく組み立て、ストラップを正しく配置することによってのみ、保持システムの適切な効果が保証されます。使用中は、ロックレバーを常にロック位置に固定する必要があります。正しくロックできない場合は、ロックしないでください。

ヘルメットを使用します。

バイザー—Q—R—S

バイザーは定期的に清掃し、管理する必要があります。バイザーが汚れていたり、表面にひどい傷がある場合、異常な光の反射や偏りが発生する可能性があります。安全性が危険にさらされる可能性があります。

このような問題が発生した場合は、直ちにバイザーを交換してください。

操作方法—図 12

バイザー(Q)の操作は昇降レバー(R)のみで行えます。誤って破損(傷)や視界を汚す恐れがありますので、他の部分で開けないでください。

バイザーを開く: 持ち上げレバーを外側(R)に軽く押して、ガスケットの下のシート(S)からタブのロックを解除し、持ち上げます。

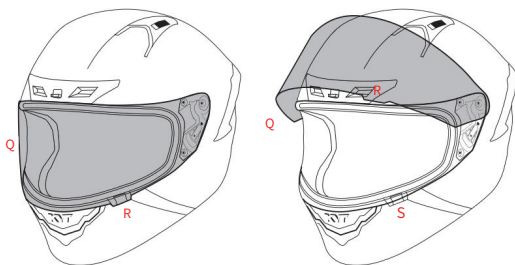


図 12

バイザーを閉じる: バイザーを所定の位置にロックするには、タブがガスケットのシート (S) 内でブロックされるまでバイザーを下げます。

ロック位置は 2 つあります: 中間位置とバイザーが完全に開いた位置です。

バイザーはロック位置まで完全に閉閉する必要があります。バイザーは、カチッと音がしてシートに収まると、所定の位置に正しくロックされます。バイザーをロック位置からロック解除するには、上記の手順に従い、動きの初期段階でバイザーのロックが解除されるまで軽く押します。

オートバイに乗っている間は、バイザーを中間の位置に置いたままにしてはいけません。常にロック位置にロックする必要があります。

バイザーの取り外し— 図 13A 1) バイザーが完全

に開くまで開きます。

2) レバーをスライドさせ (T)、歪った状態を保ちます (T)

3) バイザーを回転させて機構から取り外し、同時に外側に引き出します。反対側でも操作を繰り返します。

アセンブリ— 図 13-B

バイザーの回転システムが適切に動作することを保証するため、バイザーを元に戻す前に、すべての部品 (ヘルメットのシート、可動部品と接触するバイザーの表面) が完全に汚れていないことを確認してください。

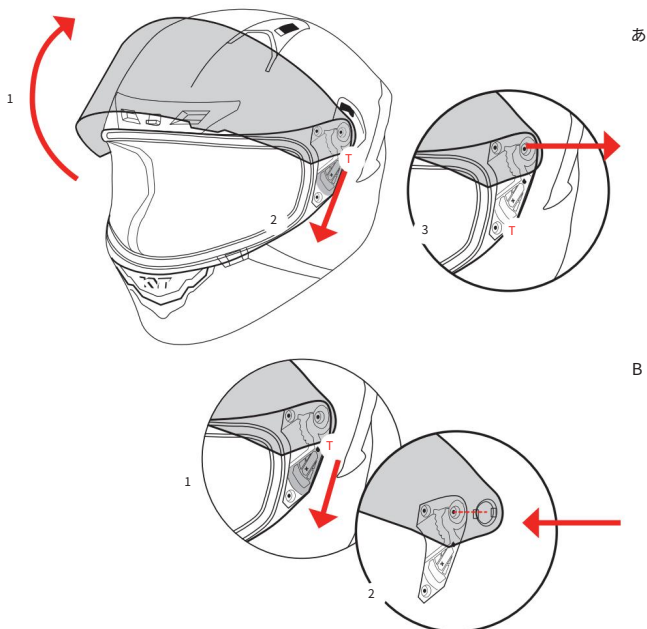


図 13 AB

バイザーを完全に開きます。回転シートが回転リングに挿入されるように、バイザーを機構上に配置します。

1) レバー(D)をスライドさせます

2) 軽く押して、バイザーのフックを回転機構のスロットに差し込みます。反対側でも操作を繰り返します。

機構を取り付けた後、バイザーがヘルメットにしっかりと固定されていること、自由に回転すること、およびロック位置に正しくロックされていることを確認します。

これが起こらず、バイザーの回転機構が正しく機能しない場合は、ヘルメットを使用せず、許可された担当者の方に連絡してください。

調整—図 14

部品を交換した後、またはヘルメットを長期間使用した後、閉じたバイザーからの浸入が発生した場合は、バイザーの機構を調整する必要がある場合があります。

バイザーが完全に開くまで持ち上げます。

前の段落で指定したように、バイザーを取り外します。

ネジ (U - V - W) は取り外さず、機構を分解せずに緩めます。

機構全体を水平に移動し、ネジを締めます。

機構を前の機構と同じ方向に移動して、反対側でも操作を繰り返します。

完了したら、バイザーが簡単に閉じられるか、ガスケットが密着しているかどうかを確認します。

#### バイザー機構

機構の取り外し

上記の手順に従ってバイザーを取り外した後、ネジを緩めて取り外します。

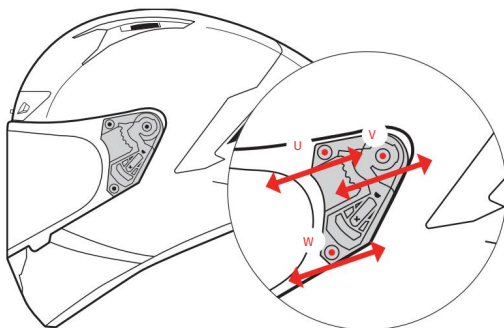


図 14

(U - V - W)次に、メカニズムをシェルから取り外します。

機構の取り付け

メカニズムは交換可能ではありません。続行する前に、正しいアセンブリ側を特定する必要があります。機構をシェルに置き、ネジを差し込んで締めます。

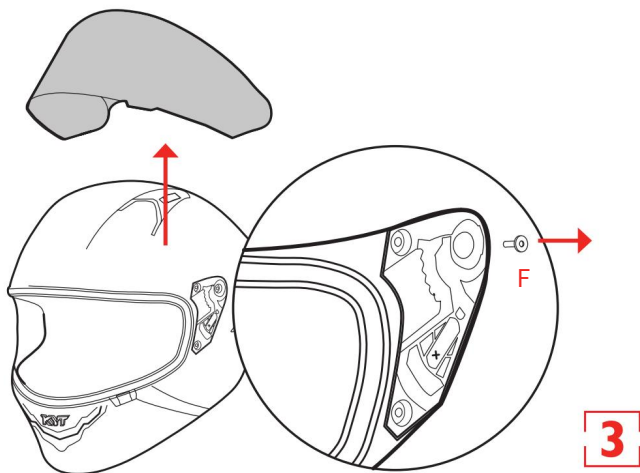
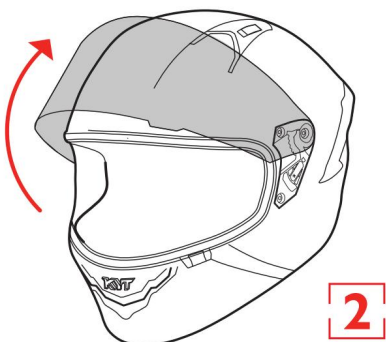
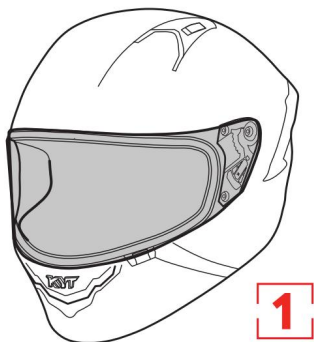
部品を取り付けた後、機構が正しく配置され、シェルにしっかりと固定されていることを確認します。次に、バイザーを取り付け、上記の段落で指定されているように調整します。

機構を取り付けた後、バイザーがヘルメットにしっかりと固定されていること、自由に回転すること、およびロック位置に正しくロックされていることを確認します。

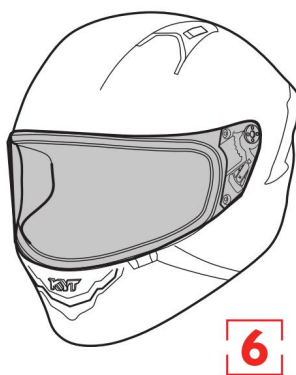
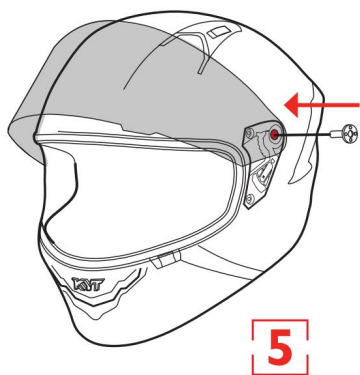
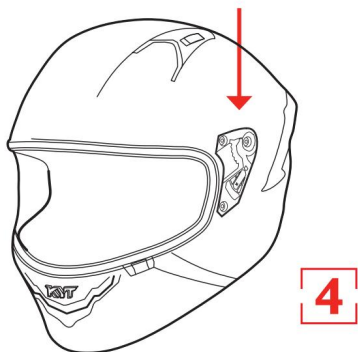
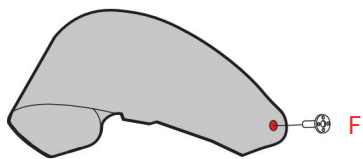
これが起こらず、バイザーの回転機構が機能しない場合

正しくヘルメットを使用せず、許可された担当者の方にご連絡ください。

「レーシング」バイザーの取り外しと組み立て







## ノーズガード

## 取り外し - 図 15

ノーズカバーは、キャップとチンガードの内側ライニングの間の所定の位置にカチッとはめ込まれます。外すときは上に引っ張るだけです。

## 組み立て - 図 16

ノーズカバーをバイザーの開口部の中央に置き、キャップとチンガードの間にタブを挿入します。ノーズカバーの下端がキャップの端に完全に密着するまで、ノーズカバーのタブのある場所を強く押します。

これが起こらず、ノーズガードがシェルの端に付着していない場合、または正しい位置にない場合は、ヘルメットを使用せず、許可された担当者のみにご連絡ください。

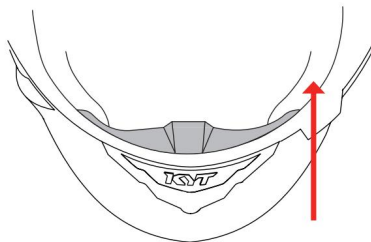


図 15

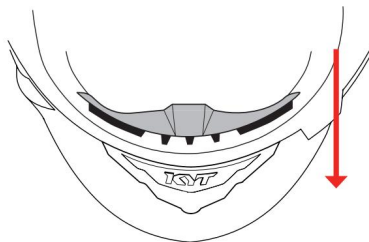


図 16